

教員免許取得に向けて

高等学校教諭一種免許状（情報）

※ 工学部学務係配布の「教員免許状取得の手引」を参照すること
知能情報コースWEBからPDFファイルを入手可能

教員養成に対する社会的状況

- 教員資質の向上
 - 実質的・体系的なカリキュラム
 - 実践力の養成
 - 人間性（教員になる強い意思）
- 教育実習
 - 実習前指導の徹底、実習後の振り返り
- 教職科目の強化
 - 教職実践演習（高） 4年後期
 - 学校教育実践指導Ⅰ 3年後期
学校教育実践指導Ⅱ 4年前期
 - 教育におけるICT活用
 - リフレクションデー 1年後期、3年後期

免許取得に必要な最低単位数（免許法）

- 教科及び教科の指導法に関する科目 24単位
 - 教科に関する専門的事項 20単位
 - 各教科の指導法 4単位
- 教育の基礎的理解に関する科目 10単位
- 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 8単位
- 教育実践に関する科目 5単位
- 大学が独自に設定する科目 12単位
- その他の要修得科目
 - 日本国憲法 2単位
 - 体育 2単位
 - 外国語コミュニケーション 2単位
 - 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作 2単位

免許取得に必要な最低単位数（本学）

- 教科及び教科の指導法に関する科目 24単位
 - 教科に関する専門的事項 20単位
 - 各教科の指導法 4単位
- 教育の基礎的理解に関する科目（全教○○○） 10単位
- 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目（全教○○○） 9単位
- 教育実践に関する科目（全教○○○） 6単位
- 大学が独自に設定する科目 10単位
- その他の要修得科目
 - 日本国憲法（憲法概論） 2単位
 - 体育（健康運動系科目） 2単位
 - 外国語コミュニケーション（大学英語） 4単位
 - 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作（情報科学演習） 2単位

単位修得の注意

- 履修モデル（手引）を参考にして履修計画
- 情報科教育法A、情報科教育法B、教職実践演習（高）、教職総合演習（情報）は知能情報コースで開設
- 教育学部開設の教職に関する科目はWeb登録申請
- 登録申請（抽選）の結果は履修登録確認表で確認
- 高等学校教育実習について
 - 4年次9月頃（沖縄県の場合）に実習校で2週間実施
 - 仮登録は前年度11月 前年度早期に各自で実習校に承諾
 - 本登録は4年次前学期
 - 教育実習の登録条件 ⇨ 手引参照
 - 教育実習経費は本人負担

教職課程履修モデル（例）

	1年次	2年次	3年次	4年次
教科	<p>コンピュータシステム プログラミング基礎 プログラミング演習基礎 情報ネットワーク I</p>	<p>プログラミング応用 プログラミング演習応用 アルゴリズムとデータ構造 データベースシステム 人工知能 データサイエンス基礎 データサイエンス応用 情報科教育法A</p>	<p>技術者の倫理 OSと並列処理 キャリアデザイン 深層学習 マルチメディア情報処理 ヒューマンコンピュータ インタラクション 情報科教育法B</p>	
教育	<p>教育原理 教育におけるICT活用 教職入門</p>	<p>教育心理学 教育課程 教育方法</p>	<p>教育社会学A 特別の支援を必要... 特別活動論 生徒指導論 学校カウンセリング 学校教育実践指導 I</p>	<p>学校教育実践指導 II 高等学校教育実習 教職実践演習（高）</p>
その他	<p>大学英語 憲法概論</p>	<p>運動・スポーツ科学演習 情報科学演習</p>		

下線は学科必修科目

赤字は教職必修科目

その他

- 履修カルテと教職ポートフォリオ
 - 教職関係科目の履修状況と学習成果を記録・保存
 - Web入力とバインダーで資料保存（毎学期）
 - 生協にて琉球大学仕様のバインダーを購入
 - 4年次後期「教職実践演習（高）」で使用
 - リフレクションデー2月実施 1年・3年
- Mattermost、LINE
 - 学部生と大学院生の情報教職志望全学生を登録
 - 連絡や情報共有に利用
 - 毎年度初めに全学年懇談会
- 高大連携事業
 - SSH探究活動支援